



「伝統」を受け継ぎ「未来」へ



三桜プラザ(中庭)で初めての「桜高祭」



質実剛健
文武両道



こ や す 坂

第 40 号
平成28年9月30日

発行
金沢桜丘高校PTA



3S歩行に向けて

PTA副会長 岡田喜樹

平素よりPTA活動におきましては、ひとかたならぬご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。九月一日からおこなわれた桜高祭は、新校舎になって初めての記念すべき桜高祭でした。生徒会を中心にどのクラスも趣向を凝らし、一致団結しているのがわかりました。なんと、自分も参加できたことを嬉しく思います。

さて、本校の一大イベントである「3S歩行」が十月二日に開催されます。平成元年に始まり、今年で二十八回目を迎えることになりました。千里浜海岸をスタートして、本校まで四十三キロ以上の道のりを六時間から十時間かけて歩きます。生徒や保護者の中には、何で大変な思いをして歩かなければならないのかと思われる方も多くありますが、これからの人生の中で3S歩行の経験が生かされることは多いと思います。

「3S歩行」の3Sは、Spirit(精神力)、Sympathy(思いやり)、Self・Control(自己管理)であり、この3つのSを鍛錬することを目的としています。先生、保護者の方には、コース指導、

救護活動、各関門運営、歩行指導、ゴールで食べるめった汁の係の協力をいただき成り立っている行事です。とくに一年生は初めての参加になりますので、不安なことが多々あると思いますが、事前準備をする際には、本番でこのようなことがあるだろう、もしかしたらこんなことがあるかもしれない、とあらゆることを想定しておいて下さい。それは言葉を変えれば本番のイメージトレーニングをすることになります。イメージを描くことでより多くの完歩に繋がると思います。前回の3S歩行では、前日の雨もあり地下道に水が溜まり、予期せぬ事態が起きましたが、天候には恵まれて、多くの生徒たちが完歩の達成感を味わうことができました。

二〇二〇年に創立一〇〇周年を迎える、歴史ある金沢桜丘高等学校の益々の発展に寄与するために、生徒の皆さんには、校訓「質実剛健」「文武両道」をめざし、部活動や勉学に励み、高校生活を大切に過ごしてもらいたいと思います。それでは、今年度の3S歩行も保護者の多数のご協力とご参加をよろしくお願ひします。

新たな桜丘の スタートに向けて



校長 下根 浩明

成二十八年度も一学期、夏休みが終了し、すでに二学期がスタートしております。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。また、桜高祭では大変お忙しい中、模擬店を出店していただき、誠にありがとうございます。今年度の桜高祭は新校舎の機能をフルに活用できるようになり、生

徒会は「新たな世界を切り拓け(主役は俺たちだ)」をスローガンに掲げ、新設した屋外の三桜プラザステージで様々な新企画を打ち出す等、桜高生全員の協力と活躍により大変盛り上がりしました。フィナーレでは校歌を生徒、教職員全員で大合唱し、桜丘の一致結束を共感でき、とても感動的でした。

が、式典における桜丘の生徒たちがつと立派だったと、各係や式典に参加した生徒に対する賞賛の言葉を数多くいただき、改めて本校の誇りは三桜魂が宿る生徒たちであることを実感しました。

世のため、人のために貢献するべきかという崇高な志を心の中に携え、自らが進むべき道を発見し、強い意志で道を切り開くことを願っています。私たち教職員もそのために一丸となって努力邁進する覚悟であり、保護者の皆様方との連携を一層、密にしていきたいと考えております。

さて、今年度の桜丘は新校舎完成という新たな歴史を刻む記念すべき年となり、五月には新校舎完成記念式典を谷本石川県知事、山田PTA会長、小杉三桜同窓会長を始め、多くのご来賓のご臨席のもと、盛大に開催することができました。ご来賓の方々からは新校舎も立派だ

生徒たちには、新校舎という素晴らしい環境で学べることに感謝を忘れず、伝統ある桜丘の理念、「質実剛健」、「文武両道」を迷うことなく、愚直に実践して欲しいと思います。それらの実践により、学力はもとより、挨拶をはじめとする思いやり、感謝の心、規範意識といった社会人としての基礎・基本を身につけることができます。そして、自分は将来、如何にして

もって親業に取り組むことの大切さを学ぶこととなりました。二日目は福井県藤島高等学校出身で現在三菱重工株式会社勤務されている田辺義慶氏の記念講演を拝聴することとなりました。自己紹介も兼ねた田辺氏の宇宙の話はどれも壮大でスケールの大きな話に皆引き込まれました。なかでも自身が中心として取り組んでいるH-IIAロケットや現在開発中のH-IIIロケット、他国ライバル社の開発の話が聞かれています。自分

北信越地区高等学校PTA連合会 研究大会(福井大会)に参加して

PTA副会長 山岸 研一

梅雨の蒸し暑さと共に盛夏のスタートを感じさせる七月八日、九日と福井県福井市フェニックスプラザを中心とした福井市内五か所で平成二十八年度北信越地区高等学校連合会研究大会が開催されました。本校から下根校長、角谷教諭、山田会長、熊野副会長、私の五名で参加してまいりました。

福井県知事、福井市長をはじめ多くの来賓をお招きし開会の言葉を封切に盛大な開会式が催されました。つづく歓迎アトラ



クシヨ
ンでは
地元福
井農林
高校郷
土芸能
部による和太鼓演奏に心の底から感動致しました。午後から始まる研究会に向けて力を分け与えられた私たちは各々分科会に分かれ一日目の研究大会がスタート致しました。

私は第四分科会「家庭教育とPTA」に参加させて頂きました。選抜された五校のPTAの代表者の発表はどれも素晴らしく、熱心に活動をされていることに感動を覚えました。なかでも富山県立南砺福野高

等学校PTA会長高松様の発表で最初に「子供がいるからPTAをやっているんだ、やらせてもらっている」という話を聞き、はっとさせられると共に自分に驕れる部分はないだろうかとの場全体の出席者が考えさせられたのち、発表を受けることとなりました。また「親は子供たちが学校でどういう顔をしているのか知ること、興味をもつこと」という話もされたとき私自身に置き換え、子供はどのような表情で授業をうけているのだろうか?部活をしているときはどう真剣な顔をしているのだろうか?友達といるときはどうか笑い、どう一緒に悩んであげているのだろうか?とまさに興味を

発の話を聞かれています。自分がやらなければならないことと周りが意識させなければいけないことなど仕事に対する姿勢等を聞くことができました。また、ご自身も二人の娘をもつ親



6月 修学旅行



5月 壮行式



4月 入学式



として子にかかわっていく話も、自分が親から受けた影響等を子に伝えていく話なども非常に共感しました。

今回の北信越地区高等学校 PTA 連合会研究大会のテーマである「再発見！愛」のもと、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を見つめ直し「愛の絆」を確かなものにする素晴らしい研究大会となりました。

**全国高等学校PTA連合会大会
(千葉大会)に参加して**

PTA副会長 熊野 盛夫

牛の出産に立ち会えたことが高校生活三年間の一番の思い出。言葉にできない感動と生命の神秘。農業高校ならではの報告に心が震えました。

私たちは生まれてきた。ゆえにここにいる。そして死んでいく。どうやって生まれてきて、どうやって死んでいくのか。そして、その間、何を学び、何を生きているのか。高校三年間も、人生の中で長いのか、それとも短いのか。生徒のあつという間の三年間に寄り添う PTA の活動報告。高校生も必死なら、PTA も必死。さすがは全国大会。発表した四校の報告に感動。総評ご担当の先生が四校の報告すべて「すばらしい」の一言につきまます、とおっしゃられると心の中で、同感！と共鳴。

八月二十五、二十六日の両日、千葉県で開催された全国高 P 連研究大会。金沢桜丘高校から上杉副校長、角谷教諭、山田 PTA 会長、岡田副会長、私の計五名が参加し、各分科会の中で私は第三分科会のテーマ『生徒指導と PTA』再発見！愛』思いやりのある「豊かな心」を育む生徒指導』に参加させて頂きました。

PTA 総会の前に、三年生が講師となって寄せ植え教室やパン作り教室を開催する前述の滋賀県立長浜農業高等学校。平成十七年度より朝食の重要性を学び、朝食摂取を呼びかけて、その効果を継続的に検証しデータ化した静岡県立焼津水産高等学校。よい生活習慣がよい人生に繋がるといふ話はよく耳にしますが、朝ごはんをしっかりと食べることが、そのきっかけになるという発表は、具体的に参考になりました。欠席、遅刻、早退の減少はもちろん、体力の向上、そして虫歯の減少にも繋がっているという報告は、目からうろこでした。

発達障害や不登校経験のある生徒、高校中途退学者に対する募集枠もある佐賀県立太良高等学校は、先生方の本気の取り組みに、PTA、保護者もしっかりとスクラムを組んで支え、また PTA が中心となって文化祭で

のカラー作り、二月の三年生合格体験発表会での PTA 豚汁会なども行っています。最後に生徒の成長が報告されると、こちらも胸が熱くなりました。

桜丘高校と似た進学校、福島県立葵高等学校の報告では、表立って明るく振舞っていても、保健室を利用する際、悩みを打ち明ける生徒が増えていることに懸念が示されました。キーマードは子どもの居場所。友達や家族、先生に言えない悩みに対し、学校に求められる先生以外の大人の存在の重要性、また、子どもが悩みを打ち明けやすい雰囲気とコミュニケーションのあり方について考えさせられました。助言者としてご登壇された滝本先生の「最後はコミュニケーションに尽きます。」の言葉がすべての土台になっています。

翌日の記念講演では、女優の市原悦子さんの味わい深いお話。戦後の食べれることの喜び、生きるために必死だったあの頃が、女優「市原悦子」をつ

くったというお話や、グリム童話、野坂昭如氏原作の朗読。七十九歳とは思えない迫力と息づかい。稽古が永遠に続けば幸せという舞台好き。その好きなことを仕事として生きる迫力と真剣さ。一

時間三十分足らずの時間でしたが強烈なインパクトでした。非常に、学びが多い機会を頂いたことに感謝致します。少しでも桜丘高校の PTA 活動に還元して行きたいと思えます。最後にお世話いただいた千葉県の実行委員会の皆様、ご同行いただいた桜丘高校の皆様、深く感謝致します。ありがとうございます。

平成 28 年度
役員・実行委員

副会長	山田 豊	岡田 喜樹
会長	松枝 雅子	北川 研吾
	吉田 栄利子	水野 友文
	稲置 慎也	山岸 堅一
	熊野 盛夫	
	杉本 さなみ	
会計監査	寺沢 進一	
三年実行委員	山田 奈津美	櫻井 弥生
	山澤 映子	泉野 直人
	中村 明子	中野 正恵
	山藤 晶子	山越 亜由美
	宇波 由美子	岩多 麗子
	沖野 万里子	竹腰 美信
	木越 隆治	宮田 守康
	石田 ゆかり	不破 英樹
	堀内 泰信	金丸 洋美
	加藤 英美	北 美千代
	櫻井 由香理	長柄 愛子
	安達 善夫	橋詰 宏枝
	番匠 尚子	竹森 美幸
	大野 華枝	永源 明浩
	本田 淳也	古川 和弘
	人見 貴子	山田 実
	山下 由紀子	高村 久司
	阪田 欽治	笠井 ゆきえ
	山口 知広	佐々木 淳子
	東 玲花	吉田 伴江
	服部 和栄	中村 勝
	吉田 直美	



第66回全国高等学校PTA連合会大会 千葉大会
平成 28 年 8 月 25 日(木) - 26 日(金)
主催 一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会



9月 自転車マナー指導



8月 首都圏研修



7月 1年球技大会

平成28年度 金沢桜丘高校PTA 年間活動

月	全 体	総務広報	母親保健	生活安全
4月	入学式 役員会① 前期実行委員会			
5月	役員会② 総会 金沢地区高P連春季総会			
6月	県高P連年次総会		第1回金沢地区母親代表委員会	第1回金沢地区生活指導委員会 自転車マナー県下一斉指導①
7月	北信越大会(福井) 役員会③	こやす坂編集会議①		
8月	全国大会(千葉)			
9月	桜高祭(めった汁試作会) 役員会④ 3S歩行協力者会議	こやす坂編集会議② こやす坂40号発行	第2回金沢地区母親代表委員会	第2回金沢地区生活指導委員会 グッドマナーキャンペーン 自転車マナー県下一斉指導②
10月	3S歩行			
11月	県高P連研究大会 金沢地区高P連秋季総会			
12月		こやす坂編集会議③		
1月				
2月	役員会⑤ 後期実行委員会	こやす坂編集会議④	第3回金沢地区母親代表委員会 学校保健委員会	第3回金沢地区生活指導委員会
3月	卒業式	こやす坂41号発行		

生徒授業評価(前期)について

教務課

本校では、生徒の学力向上を目指し、教員の授業力・指導力を高める取り組みを行っています。各教科で年間2回の研究授業を行い、同教科の教員全員が参観し、授業後は指導法等の改善に向けた協議会を行っています。さらに、教育委員会から指導主事を招き助言を仰いでいます。6月と11月には、教科にこだわらず教員間で相互授業参観を行い、指導方法の工夫と改善に関してアドバイスの交換をしています。

また、各教員が自らの授業を振り返るために、生徒による授業評価を年間2回行っています。授業のねらいの明確さ、わかりやすさ、興味・関心の高まり、進度や難易度などについて、担当クラス別、担当科目別で集計されて各教員に結果が渡されます。教員は、生徒からの評価をもとにそれぞれのクラスの授業を振り返って見直す機会として、授業改善を図っていきます。

7月に実施した第1回授業評価結果が下のグラフです。評価項目1「ねらいがわかる」、項目2「熱意や工夫が感じられる」、項目3「わかりやすい」、項目4「考えさせる場面を設けている」では、A「よくあてはまる」とB「あてはまる」の回答を合わせるとどの項目も90%近くになっています。今年度は、教員が授業の初めに「ねらい」を明確にしてから授業を進めています。またアクティブ・ラーニング型授業の導入も試みしています。そのためか項目1「ねらいがわかる」、項目4「考えさせる場面を設けている」では、A「よくあてはまる」と回答した生徒は昨年度より増え、50%を越えています。

項目5の「さらに学びたいくなる」については、A「よくあてはまる」B「あてはまる」と回答した生徒が74.7%と評価項目1～4に比べて低くなっています。授業を受けて興味・関心が高まるように、工夫・改善の必要性があると思われます。項目6「授業の進度」ではA「速すぎる」とB「やや速い」を合わせて約24%、項目7「授業の難易度」ではA「難すぎる」とB「やや難しい」を合わせて約35%となっています。これらのことを踏まえて、授業内容のレベルを下げることなく、より理解を深めさせることができる「わかる授業」を目指して、一層の工夫・改善に努めていきたいと思ひます。

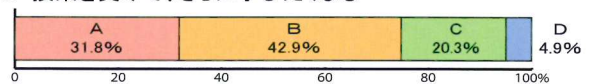
【全生徒・全教科の集計】

■ A よくあてはまる
 ■ B あてはまる
 ■ C あまりあてはまらない
 ■ D あてはまらない

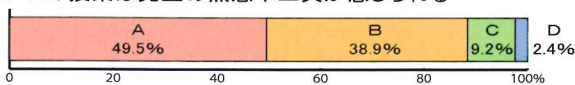
1 この授業は、「ねらい」がよく分かる



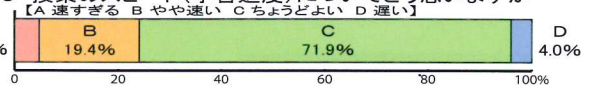
5 授業を受けて、さらに学びたいくなる



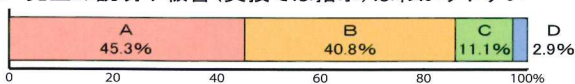
2 この授業は先生の熱意や工夫が感じられる



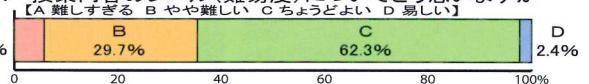
6 授業のスピード(学習進度)についてどう思いますか



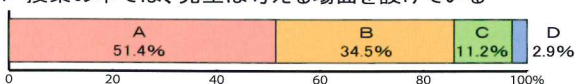
3 先生の説明や板書(実技では指示)はわかりやすい



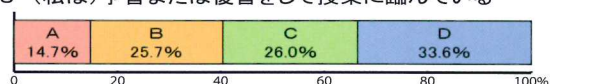
7 授業内容のレベル(難易度)についてどう思いますか



4 授業の中では、先生は考える場面を設けている



8 (私は)予習または復習をして授業に臨んでいる

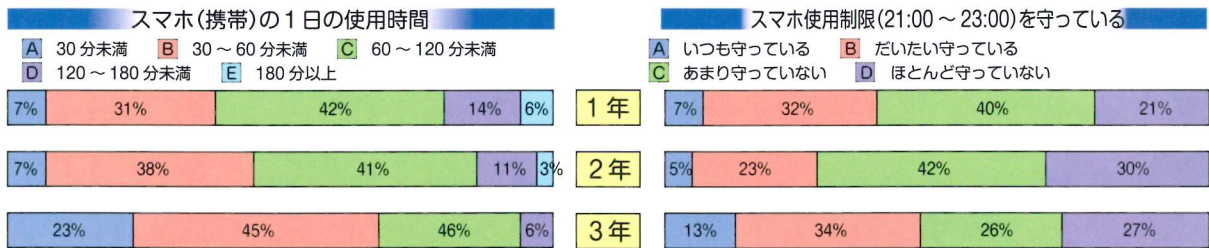




生徒学校評価（前期）の結果より

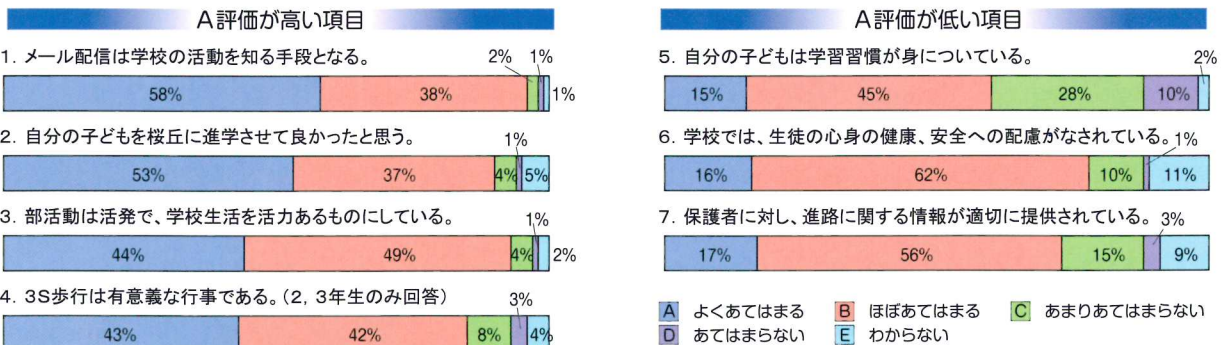
スマートフォンについてのアンケートを実施しましたので、その概要をお知らせします。スマホの使用時間に関しては、1年生の20%（実人数で70名）の生徒が1日に2時間以上使用しています。また、ご家庭での使用制限については、2年生で守っている生徒は3割を切る現状（実人数で100名）が見て取れます。

スマホなどの情報機器は便利な反面、学習への集中力が低下したり、SNSへの不用意な書き込みでトラブルに巻き込まれたりする危険性も指摘されています。学年集会など機会があるごとに、生徒には注意喚起を促しておりますが、ご家庭でもご協力をお願いします。



保護者学校評価（前期）の結果より

各項目とも、おおむね肯定的な評価（A+B）をいただいています。今回は、特にA評価が高い項目と低い項目をお知らせします。A評価が低い項目に関しては、学校評議員会・学校関係者評価委員会の提言を基に具体的な対策を検討し、今後の取組を進めてまいります。



運動部各種大会上位入賞者

平成28年度石川県高等学校総合体育大会

サッカー部 ベスト8
 男子バスケットボール部 ベスト8
 卓球部
 女子団体 ベスト4
 女子個人 ベスト16 吉田 怜 ※北信越へ



男子テニス部 団体 ベスト8
 陸上競技部
 女子100m 第2位 田中里佳 ※北信越へ
 女子4×100mR 第3位 ※北信越へ
 女子4×400mR 第6位 ※北信越へ



剣道部
 男子団体 優勝 ※北信越へ 全国総体へ
 女子団体 第2位 ※北信越へ
 男子個人 優勝 中越泰士郎 ※北信越へ 全国総体へ
 ベスト8 小林規之 ※北信越へ
 ベスト8 竹腰倭人 ※北信越へ
 女子個人 優勝 高木夏海 ※北信越へ 全国総体へ
 ベスト8 鷹尾亜夢 ※北信越へ



空手道部
 男子団体形 ベスト4
 男子団体組手 第2位 ※北信越へ
 弓道部
 女子団体 第2位 ※北信越へ
 男子バドミントン部
 団体 ベスト8
 ハンドボール部
 男子 ベスト8
 女子 ベスト8
 ラグビー部 (他校と合同) ベスト4
 水泳部
 男子100m平泳ぎ 第5位 目細広大 ※北信越へ
 男子1500m自由形 第4位 中村寛大 ※北信越へ
 男子400m個人メドレー 第4位 秋野匠真 ※北信越へ
 第8位 中村寛大 ※北信越へ
 女子100m背泳ぎ 第4位 三井撫子 ※北信越へ
 女子200m平泳ぎ 第5位 三井撫子 ※北信越へ
 フェンシング
 男子個人エペ 優勝 西垣匠一郎 ※北信越へ 全国総体へ
 ボート
 シングルスカル 第4位 竹田 響 ※北信越へ
 馬術
 馬場馬術L1 第3位 星野里帆



平成28年度北信越高等学校総合体育大会

陸上競技部
 女子100m 第2位 田中里佳 ※全国総体へ
 剣道部
 男子団体 第3位
 女子団体 準優勝
 男子個人 第3位 中越泰士郎
 女子個人 優勝 小林規之
 フェンシング 第3位 高木夏海 西垣匠一郎



文化部各種成績

ESS部
 第36回English Festival
 ステージパフォーマンス 優秀賞

箏曲部
 第36回石川県高校総合文化祭邦楽合同発表会 優良賞



吹奏楽部
 第64回石川県吹奏楽コンクール
 高校A部門 金賞
 県代表 ※北陸へ
 第57回北陸吹奏楽コンクール
 高校A部門 銀賞



合唱部
 第33回石川県合唱フェスティバル アンサンブル賞

放送部
 第63回全国高校放送コンテスト
 石川県大会
 テレビドキュメント部門
 優秀賞『歴史を聞いて桜を知る』 ※全国総文へ
 アナウンス部門 入選 奥野晶子
 朗読部門 入選 泉野颯斗

新聞部
 第20回全国高校新聞年間紙面審査 優良賞

文芸部
 全国高校文芸コンクール 俳句
 最優秀賞・文部科学大臣賞 南 愛香里
 第19回俳句甲子園北信越地区大会 優勝 ※全国へ

美術部
 第1回日学・黑板アート甲子園
 日学社員賞
 第36回石川県高校総文美術展 優良賞

演劇部
 第68回石川県高等学校
 演劇合同発表会 優秀賞
 吟詠剣詩舞 ※全国総文へ



**「3S歩行」迫る！ 10月2日(日)8:00 千里浜スタート
 すべてのコンディションを整え、完歩をめざそう**